

平成 22 年 度

交通安全運動基本方針

“あなたが主役の交通安全県民運動”

「安全は自らうちから焼津から」

(～ 交差点 一時停止でゆずりあい ～)



○秋の全国交通安全運動 『薄暮時・夜間の交通安全キャンペーン』より

焼津市交通安全対策協議会

平成22年度交通安全運動基本方針

第1 趣 旨

平成21年中における静岡県下の交通事故は、人身事故件数35,878件、負傷者数46,329人、死亡者数179人であり、人身事故件数、負傷者数、死亡者数ともにトリプル減という結果でありました。

一方、焼津市の事故発生状況を見てみますと、人身事故の件数は1,339件で、前年と比べ44件の減、負傷者数は、1,676人で47人の減、死亡者数についても、2人で2人の減となり、焼津市においてもトリプル減という結果になりました。

しかし、平成20年に比べ事故件数が減少した中、依然として「交差点等の出合頭事故」をはじめ「高齢者事故」、「若者起因事故」の発生率がいずれも高いという残念な状況にあります。

これらの交通事故の原因は、運転手にあつては、脇見運転による追突事故や交差点での安全不確認、一時不停止、信号無視による出合頭事故が多く、歩行者にあつては、無理な道路横断による事故が多いです。また、近年は自転車の斜め横断、二人乗りや並進走行、脇見運転による事故が増えています。

いずれにしても、運転者や歩行者のルール無視やマナー軽視が原因となる割合が高く、規範意識の低下が事故につながっていると考えられます。

悲惨な交通事故の防止は、市民一人ひとりが相手に対する配慮と「自らの安全は自ら守る」という原点を忘れずに、真剣に取り組むべき極めて重要な課題であります。

このため、前年度に引続いて「第8次 焼津市交通安全計画」(平成18年度～平成22年度)に基づき、各年齢層に応じた交通安全教室や高齢者宅世帯訪問活動、広報活動を展開していきます。

また、当市の重点課題である「交差点等での出合頭事故」や「高齢者事故」の防止対策を強力に推進するため、交通事故の発生状況や交通実態の分析を行い、地域及び関係機関・団体等が連携・協働した、市民総ぐるみの活力ある運動を展開することが必要です。これにより、市民の誰もが安全で、かつ安心できる道路交通社会を築き上げ、「安全でうるおいあふれる人にやさしいまち焼津」の実現を目指していきます。

第2 年間スローガン

「安全は 自ら うちから 焼津から」

(～ 交差点 一時停止で ゆずりあい ～)

第3 主 唱

焼津市交通安全対策協議会